

**製品名: BAP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02908**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 80 kDa; Observed MW: 95 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BAP1
別名	UCLH2; hucep-6; HUCEP-13
遺伝子 ID	8314
SwissProt ID	Q92560
免疫原	ヒト BAP1 の組み換えタンパク質

**背景**

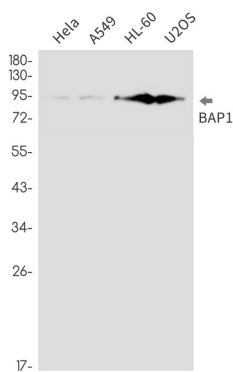
この遺伝子は、タンパク質からユビキチンを除去する脱ユビキチン化酵素のユビキチン C 末端加水分解酵素サブファミリーに属しま

す。コードされている酵素は、乳がん感受性タンパク質1型 (BRCA1) のRINGフィンガードメインを介してBRCA1に結合し、腫瘍抑制因子として作用します。さらに、この酵素は転写調節、細胞周期および増殖調節、DNA損傷への応答、そしてクロマチン動態にも関与している可能性があります。この遺伝子の生殖細胞系列変異は、悪性中皮腫、ブドウ膜黒色腫、皮膚黒色腫などのがんのリスク増加を伴う腫瘍素因症候群 (TPDS) と関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2013年5月]

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



BAP1 抗体を使用した HeLa、A549、HL-60、U2OS 溶解物中の BAP1 のウェスタンブロット分析。